

環境活動を盛り上げる「げんき」いっぱい！！



次世代の環境活動に期待：次学年に引き継がれる せみの学習調査



上牧地区ため池調査



生ごみの堆肥化



ゴーヤ利用の緑のカーテン

Contents

地域活動を盛り上げる地域通貨

2008年2月17日市民環境講座開催

グループ活動紹介

- 関心高まる雨水利用タンク 水環境保全グループ
- 市内のサイクルマップ 人にやさしい交通グループ
- 里山保全と伐採材の活用研究 里山グループ
- 気象から地球環境を考える・地産地消を高槻市の
農産物を通して考える 環境講座グループ
- 恒例の餅つき・大根の収穫 エコビレッジグループ

地域活動を盛り上げる地域通貨 市民環境講座 開催!

たかつき環境市民会議では、各種の出前講座を開催しています。今回、高槻市主催の標記講座の企画運営を委託され、平成 20 年 2 月 17 日（日）生涯学習センター 1 階展示ホールで開催しました。当日は小雪の舞う中 70 名あまりの参加がありました。

講座で行われた講演の内容は次のとおりです。

1. オーナー制度による棚田保全活動により、休耕田の復活と、地域の活性化をすすめている
; 高槻市高槻支所地域振興課 課長 林典男さん
2. 子どもエココインを遊び感覚でつかい、子ども同士の付き合い方を学んでいく
; NPO 法人子どもネットワークセンター天気村 代表理事 山田貴子さん
3. 地域通貨「げんき」を発行し、商店街とも連携し地域通貨を循環させ、地域コミュニティの活性化を図る
; NPO 法人地域通貨ねがわ 理事長 三和清明さん



講師の先生方



参加者の質問

明日の環境と
ボランティア活動
のために

今号では当日の様子を写真で紹介します。
詳しくは次号で紹介する予定です。

グループ活動紹介 その1

関心高まる 雨水利用タンク

水環境保全グループ

水グループは、今年も「たかつきエコフェスタ 2008」で、ため池班、川班、雨水利用班の展示を行いました。

ため池班は、上牧地区内ヶ池を中心に生き物調査データと外来種の調査データを掲示し、飯田池のイシガイ、ドブガイ、コカナダモ、エビモを展示。

川班は、芥川生き物調査データを掲示しました。あくあぴあ付近で捕ったオイカワ、カワムツ、ドンコ、モクズガニ等の水槽展示に人気が集まりました。

雨水利用班は、啓発パネルや雨水タンクの写真を展示するとともに、高槻市内に設置された雨水タンク（40 基）を地図上にプロットし普及状況を紹介します。また M 氏が考案された雨水トレール取水配管キットは、昨年よりぐっとレベルアップしました。実演紹介では多くの人（30 名の設置希望有り）が足を止め、簡易な雨水利用のツールとして好評を得ました。またミニコミ誌「サークルマム」のグループ紹介で、水グループがエコフェスタ会場で取材を受けました。

3 日間で水グループ会員募集チラシ 50 枚 芥川生き物マップ 100 組、雨水利用チラシ 40 枚、魚の絵が入った下敷き(芥川倶楽部)200 枚の要望がありました。

また学校の先生が見学に来られ、「芥川で子供たちと魚を捕りに行ったが、ぜんぜん取れなかった。教育の一環で魚捕りの課外教育に来て貰えないか」という話もあり、関心の高まりを感じました。



雨水トレール取水キットの説明



池班が取材をうける

グループ活動紹介 その2

関心を集めた 市内のサイクルマップ

人に
やさしい
ドイツの街

人にやさしい交通グループ

平成19年度エコフェスタでは、下記の展示とアンケートを実施しました。

展示 1) ドイツ環境視察「交通システムと街づくり」の写真

2) サイクリングロード7コースの地図と沿線の写真

その他チラシ「人にやさしい交通グループの試み」の配布とアンケート調査の実施

去年秋私たちグループの仲間2名がドイツの環境都市フライブルグ（人口約21万人）と自転車のまちミュンスター（人口約28万人）などを見てきました。沢山撮った写真のうち30枚ほどを展示しました。いずれのまちも自転車道が整備され、市民が自転車を「車」と同じような「交通手段」として、「ルール」を守り、規律ある行動をとる姿は、大人社会であることを実感しました。日本のような車優先の交通ではなく、また自転車からも守られた歩道がこれほど安心できる空間だと初めて知りました。

この写真の前に立ち止まる人のほとんどは、高槻の交通問題に関心を持っておられる方でした。公共交通機関のさらなる充実により、車に依存せず、安心して歩ける「まち」を実現し、買い物客などの活気にあふれた高槻を実現したいものです。

サイクリングロードマップを見ておられた方は、家族でサイクリングを楽しんでおられる方や、遠方から越してきたので高槻をもっと知りたいという方などで、とても好評でした。できればコースをパンフレットやホームページで公開して欲しいという意見がありました。

また、会場では写真を参考に高槻で取り入れたい交通施策についてアンケートを行い、次の結果を得ました。

- 第1位 中心部、商店街などへの駐輪スペース設置
- 第2位 自転車専用道あるいは自転車通行帯の設置
- 第3位 自動車抑制（自動車通行禁止や制限、一方通行など）区域の設置



展示：ドイツの環境視察



展示：サイクリングロードマップ

里山の保全と伐採材の活用研究

里山グループ

私たち、里山グループは、たかつき環境市民会議の目的とする「エコシティ高槻」の実現に寄与するための活動をしています。

里山の保全と伐採材の活用研究では、フィールド作業として、萩谷公園内で竹炭窯を作り、萩谷の山間部の竹林（孟宗竹）で伐採竹を竹炭窯で焼きます。焼却過程で出来た「竹炭」と「竹酢液」を、高槻市フリーマーケット実行委員会が開催する「秋の市」で販売をしたところ好評で、多くの市民が購入されました。「たかつきエコフェスタ2008」ではこの成果を展示しました。



展示：資源利用の正月飾り

グループ活動紹介 その3

気象から地球環境を考える

南大冠公民館が催した「気象で知る地球の異変」と題して地球環境の変化を考える講座で、公民館からの要請を受けて講師を担当し、次の話をしました。

(平成19年9月28日(金))

近畿圏を主とした近年の気候の変化・地球温暖化・環境の変化、たかつき環境市民会議の活動

水の確保に取り組むシンガポール、生命維持に不可欠な水・高槻市の水事情

環境講座グループ



南大冠公民館での講座

地産地消を高槻市の農産物を通して考える

高槻市立生涯学習センター主催の「けやきの森市民大学」講座 - エコと「食」を考えるで、高槻市の依頼を受けて講師を担当し、次の話をしました。

(平成19年10月25日(木))

地産地消と地球温暖化問題、高槻市の農業と農産物環境に優しい天然ガス自動車



森林センターでの説明

エコビレッジ恒例の餅つき・大根の収穫

エコビレッジ恒例の餅つきを、幼児4名を含む26名が参加し、昨年末24日に実施しました。榎田の二料山荘で準備をして頂き、子どもたちも交代で餅つきに汗をかきました。皆でワイワイ言いながら、大小様々な餅を丸めました。熱々のつきたてを、大根おろしの「からみ餅」と「きなこ餅」で食べました。

二料の美味しい米でにぎったおむすびと畑で採れた大根入りの豚汁も大好評！お腹が一杯のはずが、お替りする人が続出でした。

午後からは畑の大根の収穫にまたまた汗をかき、いい運動になりました。

大根は、ひと家族10本余りのお土産になりました。

「大根葉のふりかけ」と便利な保存食「干し大根」の作り方を伝え、持ち帰った大根を無駄なく食べて頂けたと思います。

エコビレッジグループ



割り干し



切り干し大根の完成途上の状態

「事務所のご案内」

下記時間帯には事務局員が常駐していますので、グループ活動や問合せにご活用下さい。

執務日：月・水・木・金（祝祭日除く）

時間：午後1時から午後5時

住所：高槻市出丸町2番30 高槻市環境政策室分室内

TEL・FAX：072-675-4646

メールアドレス：takatsukikankyo21@gaea.ocn.ne.jp

2008年3月8日発行

発行：たかつき環境市民会議、高槻市

編集：たかつき環境市民会議 広報部会・プレスグループ

問合せ先：たかつき環境市民会議事務局

エコ&エコVol.14